

大学の紹介

信州大学は、長野県全域にキャンパスが位置し、豊かな自然環境から学ぶフィールド型（自然が教室）の教育が特徴です。大学の地域貢献度調査では毎年上位にランクインし、人材育成や地域企業との共同研究などで評価されています。本出展の先鋭材料研究所は、特色ある材料研究（カーボン等）によって世界に誇る成果を上げてきました。

事業概要

1. ナノテクプラットフォーム事業 文科省の行うナノテクノロジープラットフォーム事業に所属しており、ナノ材料の合成に必要な先端機器群を供給するとともに特性評価、データの解析等も含めた総合的な支援をしています。

2. アクア・イノベーション拠点(ナノカーボン分離膜の開発) JSTセンター・オブ・イノベーション(COI)プログラムによって国連が進める持続可能な開発目標(SDGs)の一つである水処理について、海水淡水化を中心とした高性能で強靱(ロバスト)なナノカーボン分離膜の基礎科学と技術開発を実践しています。この成果内容と構築するアクア・ネクサスカーボン(AxC)-プラットフォームを紹介します。

3. 「ABCコンソーシアム」と「ナノアグリ・フォーカス・コンソーシアム」 『知』の集積と活用による革新的技術創造促進事業(うち「知」の集積による研究開発モデル事業)と異分野融合発展研究の農林水産省プロジェクト事業を実施しており、未利用・低利用の農林水産物を利用した材料を用いて、新規材料の開発を実施してきました。特にナノセルロースとの複合材料(ゴム、樹脂)で強度としなやかさを併せ持つ新しい材料を開発しており、この成果品を紹介します。



産学連携事例

AxC-PFIは、アクア・イノベーション拠点で蓄積した材料科学や開発手法を、水処理、食品産業、器械工業、医薬品等の分野に広く展開すべく、潜在的なニーズ・シーズを掘り起し、次の研究活動やコンソーシアムへとビルドアップすることにより、新たなイノベーション創出へとつなげてゆくことを目的としています。(会員45機関 2020.9現在)

また、ABCコンソーシアムでも、5大学、14社と連携して研究開発を実施し、実用化検討を進めるなど、多様な連携体制を構築しています。



産学連携窓口：信州大学学術研究・産学官連携推進機構 担当：藤重、内山

所在地：〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1

TEL:026-269-5664 FAX:026-269-5667 E-mail: fshige@shinshu-u.ac.jp

k_uchiyama@shinshu-u.ac.jp

URL <https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/rism/> (先鋭材料研究所)

詳細はこちら